

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2014  
8

NO.011

[発行日]  
2014.8.1



[写真提供] 三宅島観光協会 [撮影場所] 三宅村 メガネ岩付近の海中アーチ

▶ 理事会・評議員会を開催しました ..... 2	・ 広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 ..... 7
▶ “ふらっ”と行ってみました ..... 3	東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会
▶ 多摩交流センターだより	▶ 編集後記 ..... 7
・ 多摩交流センター開設20周年記念事業のお知らせ	▶ とっておき特産物 第39回 小笠原村 ..... 8
足で知る多摩の魅力ガイドウォーク ..... 4	
記念展示の開始 ..... 4	
第18回多摩の歴史講座 ..... 5	
・ 多摩発・遠隔生涯学習講座 ..... 6	
・ 東京雑学大学講義案内 ..... 6	

Contents

8月の内容

# 理事会・評議員会を開催しました

平成26年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容を簡単にご紹介します。

## I. 平成25年度事業報告及び収支決算(下記の内容が承認されました)

### 【事業報告】

#### 1. 調査研究事業

##### ①市町村の広域的・共通的課題についての調査研究

- ・姉妹都市・友好都市交流の新たな可能性に関する調査研究
- ・自治体の空き家対策に関する調査研究
- ・職員の採用と育成手法に関する調査
- ・市町村における公文書管理方法に関する調査
- ・自治体クラウドを活用した市町村の広域連携に関する調査

##### ②市町村職員の身近な疑問等に関する調査

- ・「かゆいところに手が届く！—多摩・島しょ自治体お役立ち情報—」  
※情報提供誌「ニュース・レター」に掲載

##### ③毎年度実施の調査

- ・多摩地域データブック2013(平成25)年版
- ・多摩地域ごみ実態調査(平成24年度統計)
- ・市町村財政力分析指標(平成15年度から平成24年度)
- ・市町村税政参考資料(平成15年度から平成24年度)

※上記の報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にて閲覧・ダウンロードすることができます(一部の報告書を除く)。



#### 2. 共同事業

- ①多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- ②多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業
- ③みどり東京・温暖化防止プロジェクト事業

#### 3. 普及啓発事業

- ①出張フォーラム実施(調査研究結果の市町村への還元)
- ②シンポジウム「たまには多摩の話しを」開催
- ③情報提供誌「ニュース・レター」発行
- ④機関紙「ぐるり39」発行
- ⑤「東京都多摩・島しょ地域自治体博物館ガイド」発行
- ⑥「東京島しょ地域魅力紹介ハンドブック」発行

#### 4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

- ①登録団体への会議室の提供
- ②広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- ③生涯学習講座開催(TAMA市民塾等との共催)
- ④「はやぶさ特別講演と映画鑑賞」開催
- ⑤小冊子「多摩市町村のあゆみ」発行

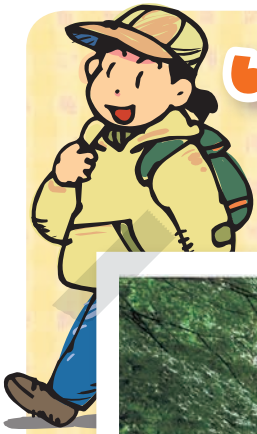
### 【収支決算】(貸借対照表)

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	141,416千円	負債の部	42,238千円
固定資産	4,580,052千円	指定正味財産	3,790,000千円
		一般正味財産	889,230千円
合計	4,721,468千円	合計	4,721,468千円

## II. 評議員・理事の選任

退任した評議員・理事の後任として、新たに次の方が選任されました。

- 1. 評議員            小澤 博   【新島村長】
- 2. 理 事            前田 福夫【利島村長】



# “ふらっ”と行ってみました。

～多摩地域のちょっと気になる場所をご紹介します～



涼しげな風景ですよ!本誌の表紙写真にご協力いただいている、小金井市の塚口様にいただいた写真です。

緑がきれいで、この滝、いったいどこにあるんだろう?行ってみたい…ということ!!

塚口様に教えていただいて、“ふらっ”と行ってみました。意外に近いんですよ。

【左の写真提供】小金井市 塚口晴宏様

行ってみると、お天気が良かったこともあり、滝の水しぶきと緑が日の光を浴びてとてもきれいでした。

この滝からは、右の写真のような小川が流れ出ています。



この小川は左の写真の浅瀬に流れ込みます。お子さん連れでマス釣りでもできそうな場所ですね。いったいココってどこなんでしょう!?

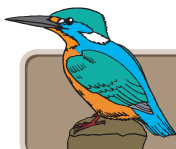
滝からの流れが最後に辿り着くのは、「水遊びの池」なんです!! (右の写真)

今回行ってみたのは、私たち自治調査会の所在地、府中市にある『府中市郷土の森博物館』敷地内の「モミジの滝」。滝は写真左奥の方向です。「水遊びの池」から上の写真の浅瀬まで上って行けるんですよ。お子さん連れでも楽しめる、意外な近場の涼ではないでしょうか!?

遊びに行かれる際は、しっかり日焼け対策と熱中症対策をくださいね。



【府中市郷土の森博物館：東京都府中市南町6-32 電話042-368-7921 (代表)】



## 多摩交流センターだより



### 『多摩交流センター開設20周年記念事業』のお知らせ

“ぐるり39”6月号でご案内したとおり、平成26年7月1日で多摩交流センターは開設20周年を迎えました。このことを記念し、次の事業を行います。

#### ☆記念誌の発行

これまでの取り組み等をまとめた冊子を2月に発行予定です。

#### ☆体験型イベントの実施(テーマ:武蔵野台地と水)

・「足で知る多摩の魅力ガイドウォーク」のコース等が決定しました(本ページ中段)。申し込み方法は次号に掲載しますのでお待ちください。

・「多摩の歴史講座」は、次ページで募集しています。お申し込みお待ちしております。

#### ☆登録団体等の活動紹介の場の提供

・多摩交流センター開設20周年記念展示(本ページ下段)を開始します。ご来場ください。

### 武蔵野台地と水

### 足で知る多摩の魅力ガイドウォーク

#### ●コース1

#### 「平成の名水百選」

#### 落合川・南沢湧水群を歩く

日 時: 平成26年10月中旬予定

コース: 東久留米駅(集合)～竹林公園(昼食)  
～東久留米駅(解散) 約8.5km

ここがポイント!

環境省により、東京で唯一「平成の名水百選」に選定された落合川・南沢湧水群を、日本ウオーキング協会上級指導員と一緒に楽しく軽やかに歩きます。



東久留米市・竹林公園

#### ●コース2

#### 玉川上水の歴史を紐解く

日 時: 平成26年10月下旬予定

コース: 玉川上水駅(集合)～小平中央公園(昼食)  
～小金井橋(解散) 約8km

ここがポイント!

郷土の歴史・文化を深訪している「歴史の道を歩く会」会員より解説があります。水と秋を感じながら玉川上水の歴史を紐解きます。

小平市・玉川上水



### 多摩交流センター開設20周年記念展示

お待たせしました。当センター登録団体の日頃の活動内容を発表する展示が8月より始まります。各団体の活動に興味がある方、「交流センターって何だろう」と思っていた方、ぜひ、足をお運びください。

展示スペース: 市民交流室

作品展示: 各月2団体予定

7月は、20周年記念として『きりえグループ「きり友」』の作品をモデル展示していただきました。来所の皆様からは「きり絵のすばらしさを間近で見ることができた」「交流室の雰囲気明るくなった」との感想が寄せられました。





# 『多摩交流センター開設20周年記念事業』

たましん地域文化財団・東京市町村自治調査会共催

## 「多摩の歴史講座」(第18回)

### 多摩交流センター 開設20周年記念 **武蔵野台地と水**

江戸時代から第二次大戦前まで、玉川上水とその分水は武蔵野台地に住む人々の飲料水、生活用水、田用水として暮らしを支えてきました。本講座では、水の乏しい武蔵野台地の特質や水系のありかたを踏まえ、分水の敷設と利用、水車製粉や近代産業への活用、分水の現状とこれからについて学びます。三鷹市の「大沢の里水車経営農家(新車)<sup>しんぐるま</sup>」(峯岸水車)と周辺の史跡の見学会も予定しています。

#### 第1講

9月26日(金) 13:30~15:30  
「玉川上水の分水の利用-江戸時代から近代-」

講 師:小坂克信(産業考古学会理事)

#### 第2講

10月10日(金) 13:30~15:30  
「武蔵野台地の河川と水環境」

講 師:角田清美(青梅市文化財保護指導員)

#### 第3講

10月24日(金) 13:30~15:30  
「多摩の水車のしくみと歴史、千川・三田用水の利用」

講 師:小坂克信(産業考古学会理事)

#### 第4講

11月7日(金) 13:00~16:00  
見学会「大沢の里水車経営農家(新車)<sup>しんぐるま</sup>と周辺の史跡を訪ねる」

講 師:大沢の里水車経営農家市民解説員ほか

13:00 都立野川公園集合—大沢の里水車経営農家(新車)—出山横穴墓第8号墓保存公開施設—龍源寺—近藤勇生家跡—都立野川公園(約3km) 16:00 解散、小雨決行

#### 第5講

11月21日(金) 13:30~15:30  
「分水の現状と今後—熊川分水—」

講 師:吉江勝広(福生市文化財保護審議会委員)

- 場 所 国分寺労政会館(予定)(JR中央線国分寺駅南口5分)
- 参加費 無料(第4講の「大沢の里水車経営農家(新車)」は入場料100円受講者負担)
- 申込方法 記入例を参考に往復ハガキで一人様1枚でお申し込みください。
- 申込締切 平成26年9月1日(月) 当日消印有効
- 定 員 120名(定員を超えた場合抽選となります。)
- 申 込 先 〒183-0056  
府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階  
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係

#### お問い合わせ

《講座内容について》  
たましん地域文化財団 TEL. 042-574-1360  
《お申し込みについて》  
多摩交流センター TEL. 042-335-0100



記入例:  
往復はがき  
(往信裏面)

自分の住所・名前

- 歴史講座  
受講希望
- ① 郵便番号・住所
- ② 氏名(ふりがな)
- ③ 年齢・性別
- ④ 電話番号

返信表面に  
住所・氏名を  
忘れずに

インターネット  
放送による

## 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会

## 8月・9月予定の講座案内

## 126回

**日時** 平成26年8月14日(木) 14:30から約1時間  
**題名** TamajinとTAMA市民塾と知縁コミュニティ  
**講師** 横田 至明 氏(TAMA市民塾塾長)  
**内容** TAMA市民塾はof the Tamajin, by the Tamajin, for the Tamajin(タマジンの、タマジンによる、タマジンのための)塾です。では、タマジンとはいったい何か？ また、知を縁にして新しいコミュニティを次々と生みだすTAMA市民塾のメカニズムとは？ について明らかにします。

## 127回

**日時** 平成26年9月11日(木) 14:30から約1時間  
**題名** 15周年を迎えた善行雑学大学<sup>ぜんぎょう</sup>  
**講師** 宮田 英夫 氏  
 (善行雑学大学代表理事、元ミヤタ・バイシクル・オブ・アメリカ社長)  
**内容** 1999年6月に神奈川県藤沢市善行で開講した「善行雑学大学」は、開講以来毎月1回の生涯学習講座を善行公民館で15年間休みなく続け、今年5月に180回目の講座を黒岩祐治・神奈川県知事の記念講演で迎えました。開講のきっかけとなった、1997年の日本経済新聞に掲載された当時の「保谷田無雑学大学」の記事を始めとして、善行雑学大学の歴史や活動をお話したいと思います。

- 受講料** 無料(ただし資料代100円) ○**サテライト会場** 武蔵野市かたらいの道  
 ○**講座場所** 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください)  
 ○**ライブ中継・VOD視聴について**

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

**問合せ先**: TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

## 東京雑学大学

## 9月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は9月11日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第955回	9月4日(木) 14:00から	自転車の科学 ～遠く楽に走れるのはなぜ	大井 みさほ 氏 (東京学芸大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第956回	9月11日(木) 14:30から	15周年を迎えた善行雑学大学 <sup>ぜんぎょう</sup>	宮田 英夫 氏 (善行雑学大学代表理事・ 元ミヤタ・バイシクル・オブ・アメリカ社長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第957回	9月18日(木) 14:00から	万葉集のころとことば (仮題)	小野 寛 氏 (駒澤大学名誉教授・高岡市万葉歴史館名誉館長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第958回	9月25日(木) 14:00から	健康長寿の決め手 セルフメディケーション	田口 誠弘 氏 (シニアライフコーディネーター、 ふれあいアカデミー理事)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

# 広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

## 東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会 「第8回生涯学習展—ともに高めよう地域の元気力—」

**日時** 8月23日(土曜日) 10:00~17:00  
8月24日(日曜日) 10:00~16:00

**場所** 多摩市立関戸公民館  
(京王線聖蹟桜ヶ丘駅より南へ徒歩2分)

**入場料・参加費** 無料

**内容** 書画・イラスト・絵手紙・パソコン諸作品・手工芸品等の展示、マジック・折り紙・パッチワークキルト・ビーズアート・子ども電気・科学体験等の実演・体験、多摩大学教授の講演や会員講師の古文書講座等、ご来場者との相互学習、学習相談等で、どなたも参加できます。きて、見て、体験してみませんか!

**【主催】** 東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会  
**【問合せ】** 会長 中村岩男 電話・FAX 042-486-0371 Eメール YQI01703@nifty.com



基調講演



古文書講座



子ども科学体験・電気実験教室



パソコン諸作品展示



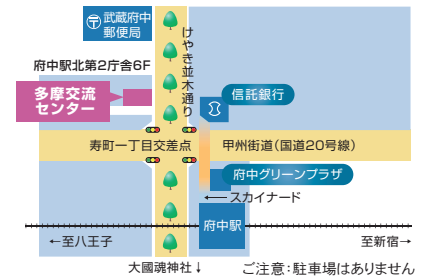
パッチワークキルト

### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

#### (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階  
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp  
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (自治調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



### 編集後記

- 当調査会は、広域的市民ネットワーク活動助成事業を行っています。これは、多摩地域において市町村の枠を越えて行われる福祉、環境、まちづくり等の市民活動に対して、活動の成果や場の経費を一部助成することによって、市民ネットワークづくりや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりを支援することを目的としています。
- 先日、本助成事業の1つであるNPO法人地球冒険学校準備会主催によるバリアフリー運動会を見学する機会がありました。6月1日(日)は猛暑の中にもかかわらず、障がい児・者とその家族等約40名に加え、ボランティアとして帝京大学「どんぐりの会」の学生約20名を含めたスタッフ約30名が八王子東特別支援学校に集まり、「バットでエイッ目隠し迷走・スイカわり」、「取ったらゴールへダッシューパン食い競争」等のプログラムを1日楽しみました。障がい児・者が、様々な世代の人たちと学校も障がいも越えて運動・交流を楽しむ様子を見て、バリアフリー社会・共生社会の輪がさらに広がっていくことを改めて願わずにはいられませんでした。
- また、6月29日(日)には、地域との連携を目的として、「多摩・キャンパスフェスタ 梅雨を吹き飛ばせ! 先取り夏祭り」が多摩大学など3大学の学生主催により多摩市内の公民館で開催されました。小生は都合で見学できませんでしたが、参加した人の話では、「住民の方が普段、学生たちの活動を知る機会はありません。この

ような交流の場があることは、学生たちにとって自分たちの活動を知ってもらふ絶好の機会だと思う。」との感想でした。

- この2つの事業を見聞きし、半年ほど前の本年2月に当調査会の主催で開催された「多摩東京移管120周年記念シンポジウム～たまには多摩の話しを～」の第2部で基調講演等を務めていただいた首都大学東京都市環境科学研究科菊地俊夫教授の話を思い出しました。
- 菊地教授は多摩の魅力と可能性について、「(要約)多摩の魅力は様々な組み合わせではないか。自然と人、以前から住んでいる住民と新住民、若い人・中堅の人・お年寄り。それら多様な組み合わせが多摩地域をつくり、活力になり魅力を発信している。また多摩地域は人の交流、お金の交流、物の交流もある。今度は、知の交流が必要である。お年寄りが持っている昔からの知恵をいかに若い人に伝えていくのか。若い人が持っている新しい考え・新しいアイデアをいかに多摩地域に根づかせていくのか。知の交流を通すことによって、文化がそこから生まれてくるのではないか。」と話されました。
- 菊地教授の問題提起を思い起こし、様々な組み合わせの持つ「多摩力」の今後の展開に期待がふくらむ運動会とフェスタでした。

(M. I.)

# とっておき特産物

## 第39回 小笠原村

### 最終回



### おがさわら島レモン

小笠原の島レモンは、サイパンのテニヤン島から渡ってきたもので、まろやかな酸味と甘み、爽やかな香りが特徴です。

一般的なレモンより、実が大きくジューシーで、皮の青いうちが食べ頃。皮ごと丸かじりにすることもできます。

ジャムやレモンカード、ゼリーなどの加工品も人気です。

焼酎の水割りに島レモンを浮かべた、小笠原の島民に「水レモン」と呼ばれる飲み方もぜひお試しください。

### おがさわらメカジキ

メカジキは小笠原の主要な漁獲物です。小笠原では、水深約600m、水温10℃ほどの環境で生息しているメカジキを、小笠原式深海縦縄漁法により一本釣りで漁獲しています。

冷蔵庫内のような環境に適応するために脂質を多く含んだメカジキを、漁獲時の魚体へのストレスが低く、肉質の低下が少ないとされる一本釣りで漁獲しています。そのため小笠原のメカジキは鮮度が抜群で、マグロの大トロ並みの脂が乗ったメカジキの刺身は絶品です。

お土産には加工品のメカジキカレーもおすすめです。

記事・写真提供：小笠原村産業観光課

☎ 04998-2-3114



【発行日】平成26年8月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】石井恒利

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>